☆目指す子ども像
強い子は
〇がんばる子
〇やさしい子
〇元気な子

わくわく・ドキン！

2・12・23 No10
池内幼稚園
２学期　最　終

２学期を振り返って！

今日で、長い２学期が終了しました。

２学期も、９月の運動会に始まり、マラソン大会や参観日やクリスマス発表会等、コロナ禍の対応で行事の日程や内容を変更させていただきました。保護者の皆様には、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

運動会は、直前まで雨模様でグランドの状態が悪い中、保護者の皆様にお手伝いいただき、無事に全ての演技を終えることができました。改めて保護者の皆様のチームワークの良さと園に対する御協力の大きさを感じました。

マラソン大会は、学年別に３日に分けて行いました。好天に恵まれ秋晴れの下で予定通り行うことができました。平日にも拘らず多くの保護者の皆様に応援していただき、子ども達も元気に楽しく走ることができました。

クリスマス発表会は、２日に分けて行いました。子ども達の楽しそうに演技をする様子や成長した姿をご覧になり、温かい言葉をいただき大きな励みになりました。

また、１１月にお世話になりました保護者アンケート（学校評価）の結果を踏まえ、本園の特長を伸ばすとともに、更に改善を図っていきたいと考えています。

年末年始は、慌ただしい日々が続くと思いますが、
ご家族お揃いで、よいお年をお迎え下さい。

令和２年１２月２３日
池内幼稚園　職員一同

今年のクリスマス会は？

１７日(木）に恒例の**クリスマス会**を行いました。
今年は、コロナ対策で３密を避ける為に、一堂に集まることを避けて、学年毎に遊戯室に集い、サンタさんから**プレゼント**をいただきました。サンタさんからプレゼントを受け取る時のみんなの表情は、

ニッコリ笑顔！

さらに、給食もクリスマスの特別メニュー（サンドイッチ）で、子ども達も大喜び！夢が広がる楽しい一時となりました。サンタさんも池内幼稚園の子ども達が大好きです。

餅つき大会（1月）は中止！

恒例の「餅つき大会」（１月）は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、衛生面でのリスクが高いという理由で、残念ですが今年度は中止とします。

１月の行事予定

１２月
２４（木）冬休み預かり保育①
２５（金）　〃　②
２８（月）　〃　③
1/５（火）　〃　④
　６（水）　〃　⑤
　７（水）　〃　⑥
８（金）３学期始業式　午前中保育　早延長あり
１１（月）成人の日
１２（火）通常保育開始
１４（木）年少個人懇（19日まで）
２１（木）**１月誕生会10:30**
２３（土）令和３年度入園説明会

１２/２９～１/　４　園閉鎖
１/１８～１/２９　保育参観（クラス毎）
※　各行事の詳しい内容については、後日お知らせします。

「書き損じハガキ」の募集！

世界に目を向けると、戦争や貧困のために学校に通えない子ども達が数多くいます。そんな子ども達のために少しでも役に立ちたいと、毎年、年賀状等の「**書き損じハガキ**」を回収しています。今年も、是非ご協力をお願いします。
２月１日まで受け付けます。

心ときめく わくわくコーナー

「今年」を振り返って！

☆今年も、残すところ１週間となりました。現在も新型コロナウイルスの第三波が押し寄せ、危険度が高まっています。冬休み中も、３密を避け、**手洗い・消毒・換気**等に気を付けてください。

☆コロナ禍で生活の仕方も大きく様変わりしました。長い目で見て、**ピンチはチャンス**と捉えて、価値観や生活様式を見直すきっかけにしていきたいと思います。本園でも、中止にした行事も多くありましたが、感染防止対策を行い、日程を分けたり参加人数を制限したりして行ってきました。保護者アンケートからも、「変更した内容の方が良い」「参加しやすくなった」等のご意見を多くいただきました。これを契機に、従来の考え方や方法に囚われず、新たな発想で創意工夫して**「よりよいもの」**を創っていきたいと考えています。

☆先日、日野原重明さんの本を読んでいたら、次の文章が目にとまりました。

「子どもは、無限の可能性を秘めた**未知なる存在**」なのです。好きなことをやらせる中で環境を変え、様々な体験をさせるしかありません。あるがままに、可能性を考え受け止めて欲しいのです。そして、子どもと**コミュニケーションを図るための技**を磨いて欲しい。そうすることが、良い環境を与えることにつながっていくのですから。今日、父親も母親もフルタイムで働く家庭が多くなりました。子どもと過ごす時間は、短くなっています。しかし、それを超えて絆を強めていく。それは、不可能ではありません。親と子の関係において、**コミュニケーションを取る技術**さえあれば、道は開けると思うのです。」

子どもは、兄弟でも一人ひとり性格や考え方は異なります。コミュニケーションの取り方も、子どもをよく観て、子どもに一番合った方法を見つけることが大切だと思います。さらに、子どもは日々成長しています。私達大人も子どもに置いて行かれないように、共に**前へ**進んでいきたいと思います。